2033

# 癒しをもたらすメッセージギフトの提案

A Gift From The Heart, To Your Heart

AD38　吉本　有佳里
指導教員　菅原　由佳, 氏家　和彦

## 1. 研究目的

忙しい時代と言われる今、慌ただしく動き回る中で私たちは何か大切なものを見失っているのではないかと考えた。そこで私は、忙しく心に余裕の無いストレスと戦っている人が少しでもほっとし、癒しとなるような、そして読み終えた後に視界が開け、優しくなれるような媒体を提案したいと考え研究を進めることにした。

## 2. 調査と分析

現在は、遅れてはいけない、急がなくてはいけないと時間に追われた生活を送っている人が多く、周りを見渡せばそのような人々の姿がいくらでも飛び込んでくる。社会に取り残されない為に睡眠時間を削ってまでも自らを酷使し、その結果、極度の疲労によりうつ症状の発症、さらには自殺や過労死に至る人もいるのが現状である。

**気分障害の疫学**

世界精神保健(WMH)調査データによる国内の気分障害有病率(数字は%、診断はICD-10)

| | 障害有病率 | | | 12 ヵ月有病率 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 合計 | 男性 | 女性 | 合計 | 男性 | 女性 |
| 全てのうつ病エピソード | 6.6 | 3.7 | 9.1 | 2.1 | 1.0 | 3.0 |

出典：平成18年度厚生労働科学研究「こころの健康についての疫学調査に関する研究」主任研究者:川上憲人

上の表を見ると、男性よりも女性の方が 2 倍ほどうつ病になりやすいことが分かる。以上のことから、癒しを求める大人の女性をターゲットとした。

## 3. コンセプトの立案

調査と分析をもとに、「癒しを“伝える”」というコンセプトに設定した。忙しく心に余裕の無い人へ癒しを伝え、日々の暮らしの中にある幸せを見つけ出すヒントとなる媒体を提案する。

## 4. デザイン展開

当初は「癒しを伝えるしかけ絵本」というテーマで制作を進めていたが、絵本とは違う表現方法を考え、ターゲットとしている方々へ言葉を贈りたいという思いから「メッセージギフト」を提案することにした。メッセージギフトは、絵本『たいせつなこと』の内容を用いて制作する。この絵本は日々目に映るものたちを新鮮な驚きを持って自由にとらえ、「たいせつなこと」とは何かを優しく詩的な文章で語りかける。文章はシンプルで読みやすく、内容がすんなりと心へ入り込むと感じ、この絵本を選んだ。

デザインは言葉を贈るというキーワードから考え、プレゼントのようなイメージで、形は正方形のボックス型にした。ボックスの中には更に四つの箱が入っており、それぞれの箱の中で一つの詩が繰り広げられている。詩をより身近に、深く感じてもらう為に箱の中には詩についての「しかけ」が入っている。

## 5. 完成図

中に四つの詩(ひなぎく, りんご, くつ, あなた)の箱が入っている。

開くと詩が書かれている。

中にはしかけが入っている。

## 6. 結論

詩だけでなく、しかけを用いることで、コンセプトである「癒しを“伝える”」ということが達成出来たと思う。ギフト感を出すことは出来たがサイズが大きい為保存方法に困ってしまう点、取り出して読むことに手間がかかってしまう点など、まだまだ改良の余地があると感じた。

## 文　献

・ マーガレット・ワイズ・ブラウン(作)・内田也哉子(訳)
レナード・ワイスガード(絵),『たいせつなこと』
株式会社フレーベル館, 2001